

日本繊維機械学会 東海支部

繊維講演会

【日 時】 2019年12月5日（木）13.30～16.40

【会 場】 岐阜毛織会館 会議室（岐阜県羽島市竹鼻町蜂尻 448）

【内 容】

13.30～15.00

（1）「スマートテキスタイルと IoT によるファッションナブル IoT」

奈良女子大学 教授 才脇直樹

才脇教授らは、印刷可能な導電性ゴムによるプリントド・エレクトロニクスやスマートテキスタイルの技術を用いて、衣服やアクセサリとセンサが融合した日常生活を無意識にサポートする情報デバイスである「ファッションナブル IoT」の研究・開発を行っています。全身各部に装着したセンシング・デバイスをスマホ等と接続することで、ビッグデータから生活習慣の傾向や健康状態を分析できます。本講演では、ファッションナブル IoT を用いた新たな社会サービスや、新事業の可能性についてお話ししていただきます。

15.10～16.40

（2）「ミツフジの取組みについて」

ミツフジ（株）代表取締役社長 三寺 歩

ミツフジ株式会社は、1956年に西陣織帯工場として創業後、新規事業展開として銀メッキ導電性繊維 AGpossR の研究と開発に取り組んできました。その後 AGpossR に特化したビジネスモデルに移行し、2016年12月に AGpossR を使用したウェアラブルプラットフォーム hamonR を発表、発売を開始しました。本講演では、正確な生体データが取得できる繊維からクラウドまでをワンストップで提供するウェアラブル IoT 企業へ変貌し、世界をリードし続けるミツフジの戦略と開発事例を紹介していただきます。

【共 催】 日本繊維機械学会東海支部、岐阜県産業技術総合センター

【参加費】 無料

【申 込】 ①氏名、②所属役職、③連絡先（所在地、電話番号）を記入の上、11月26日までに FAX にてお申し込み下さい。

【問合せ・申込先】 岐阜県産業技術総合センター 繊維・紙業部 林・亀山

TEL：0575-29-7156

FAX：0575-24-6976